

タリタ・クム！ 起きなさい！

発 行: SIGNIS JAPAN

日本カトリック メディア協議会

代 表: 千葉茂樹

発行所: 〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-42

聖パウロ女子修道会内

TEL. 03-3479-3941

E-mail: info@signis-japan.org

http://signis-japan.org/

クリスマス、おめでとうございます！ SIGNIS JAPAN（日本カトリック メディア協議会）のニュースレター、「タリタ・クム」の第一号をお届けします。この言葉は、イエス様が亡くなった少女を生き返らせた時に呼びかけた言葉で、アラマイ語で「起きなさい」の意味です。さまざまな意味で今、神様から私たちに向けられた言葉だと思います。回を重ねるごとに魅力あるものにしていきたいと願っています。発行は年に4回を目指します。よろしくお願ひします。

ニュース

シグニス・ワールド大会 タイ・チェンマイで開催！



10月17日から23日まで、シグニス80周年記念世界大会が、タイ・チェンマイ市で開催され、日本からは副会長の土屋氏、事務局長の町田氏、中央協議会の下窄師、そして紅一点の泉さんの4名が参加しました。参加者からの言葉をお読みください。

初日の文化体験の日を楽しんだあとは朝から夕食前までが世界大会で、夕食後からはアジア会議とハードな毎日でくたくた。今年は「子どもの権利、明日の約束」のテーマで69ヶ国、ボランティア、子ども達を含めて約500人の大会議でした。

全体会議、分科会、子ども達のワークショップと盛りだくさん。皆真剣。貧困と飢餓による子ども達の置かれた極限的な状況が紹介された。またマレーシアでは今でも新聞や放送の検閲

があって報道機関は政府系が占めているとの発言やフィジーでは個人のe-mailまで検閲されているとの話があり、厳しい現実が報告された。

一番の想い出は日本の現状報告ができたことですが、驚いたのはアフリカ、アジアが元気で、欧州はそこそこ、アメリカの存在感がほとんど感じられなかったこと。文化体験では象の背中にゆられての泉さんとの山道散歩が忘れられません。象の食事はココナツやサトウキビ、鼻が器用で絵も描く頭の良さにびっくり。日本仏教と上座部仏教の違いも何となく実感できました。やはり異文化は現地体験が一番ですね。

(町田記)



教区広報担当者全国会議に参加！

10月5日から7日まで潮見で行われた同会議にシグニスとして初参加をし、シグニスの紹介と広報担当者間での今後の協力可能性について議論。同じ心で活動している仲間が全国にいることが大変心強い思い。

夜の懇親会での盛り上がりは皆さんの特技と判明しました。 (町田記)



映画チームからの お薦め映画

『マザー・テレサと生きる』

鈴木 浩

たとえ直接会ったことがなくても、マザーに「出会ってしまった」人はみな「マザー・テレサと生きることになるのではないか。

映画はマザーの「心」と出会った人々が、その精神をどう受け継いでいるかを追っている。「自分の国の中でカルカッタを探してください」マザーのこの言葉通りの生き方を選んだ人々の姿にまず圧倒される。弱い立場の人々にひたすら寄り添う山谷の「きぼうのいえ」の働き手たちは「愛には決心と努力が必要」であることを示している。映画「マザー・テレサとその世界」の製作から約30年、今もマザーのメッセージを伝え続けている千葉監督もまさにマザーと生きているのだと思う。「たいせつなのは、どれだけたくさんのことや、偉大なことをしたかではなく、どれだけ心をこめたかです」

千葉監督の作品を見るたびに私はマザーのこの言葉を思い起こす。

2009年／日本／73分 文部科学省選定、SIGNIS JAPAN推薦

監督：千葉茂樹／企画・製作：女子パウロ会／製作協力／近代映画協会／語り：山根基世（ことばの杜）

2010年1月16日より、東京都写真美術館ホールで開催される「マザー・テレサ映画祭」にて公開

www.motherteresa.co.jp

前売りチケット 一作品 900円／当日1,200円



ミニミニ メディアリテラシー

ピオ12世とラジオ



「リテラシー」とは「読み解く」という意味の英語で、現在、さまざまな分野で広く使われている言葉です。創刊号の今回は「ラジオ」について少し「読み解いて」みましょう。若干影が薄くなった感もあるラジオですが、4～50年前は今のインターネット以上の存在感と影響力を誇っていました。

教会とラジオというと、真っ先に思い出すのが教皇ピオ12世（1876～1958）です。第二次世界大戦の勃発を回避すべく努力したこの教皇は、戦後は、世界の和解と平和構築に全力を傾けました。1952年、敗戦の痛手と失意の中にいた日本国民に教皇はラジオを通じて激励のメッセージを送ります。極東アジアの小さな島国、しかも戦争の当事国にして敗戦国でもある日本国民に直接向けたこの呼びかけは、今日の私たちには想像もつかないほどの感動を呼び起し、日本の新聞各紙も取り上げました。ピオ12世は、終戦まもなく戦勝国、敗戦国の区別なく新しく32人の枢機卿を親任するなど、戦後の復興への国際協力の靈的シンボルともなりました。視覚メディア全盛の現代にあって、心を静めて全身を耳にして「聴く」ことも大切かもしれませんね。ユダヤ教では今も彼らの信仰告白が、「シェマー、イスラエル（聴け、イスラエルよ）」の言葉で始まるのは意味深ですね。

ごあいさつ

シグニス・ジャパンの役割

千葉茂樹（SIGNIS JAPAN会長）



私が会長の大役を引き受けた時、今日のようなすばらしいスタッフが参集してくれるとは想像すらできなかった。前任者のシスター白井が夢見たことが今は少しずつ現実になりつつある。神に感謝である。

2001年秋、ローマで初めてシグニス世界大会が開催され、教皇ヨハネ・パウロ2世からじかに将来にわたる《メディア宣教の役割》の重要性が宣言された。これを機会に、過去70年余にわたって活動してきた2つの組織がさらなる時代に即した組織に発展、世界的な仲間と連携できるようになった。

おかげで2007年秋には東京で初めての「シグニス・アジア会議」

を開催するまでになった。アジア各国から50名を超す参加者が集まってくれた。当初は不可能と思われていたことが、みんなの勇気と協力のもとで実現した。1週間におよんだ会期中でも、恒例の日本カトリック映画賞の映画上映と授与式も開催され、シグニス・ジャパンの活動の一端を知ってもらった。

今後も、さまざまな活動を通して、メディアによる宣教の役割を果たしたいと願っている。



SIGNIS ASIA ASSEMBLY 2007 in TOKYO Sept.24-Sept.30

SIGNIS JAPANとは

SIGNISとは世界140ヶ国に拡がるカトリックのメディアに携わる人々の世界組織です。平和文化の促進、人間の尊厳擁護、子どもの権利擁護が近年のテーマです。司祭、修道者、一般信徒が参加しています。映画、放送、視聴覚、最近ではインターネットを活用した福音宣教に力を入れています。日本ではサン・パウロ、女子パウロ会、中央協広報のほか、ボランティアの信徒が活動しています。カトリック映画賞、インターネットセミナーのほか、これからはインターネット放送局への取組みなど、さらに活動の幅を広げていきたいと考えています。



賛助会員になってください！

私たちの活動をサポートしてくれる賛助会員を募集しています。年会費は一口3,000円。ご入会いただける方は、氏名、住所、連絡先を下記にお知らせください。年会費およびご寄付は、下記銀行口座、または郵便振替口座にお振り込みをお願いいたします。

銀行振込 三菱東京UFJ銀行 六本木支店
普通 1679019

SIGNIS JAPAN 代表 千葉茂樹

郵便振替 口座番号：00100-0-534547
口座名称：日本カトリックメディア協議会

連絡先：〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-42

女子パウロ会内 SIGNIS JAPAN

info@signis-japan.org <http://signis-japan.org/>